

北条地区
コミュニティ
振興協議会
TEL25-3355

北条ネット
kitajo.net



ちからいし まな

市民レポーター活動報告

ラジオドラマ脚本 「優秀賞」

伊部 秀男

このたび、防災科学技術研究所主催による「第一回地域発防災ドラマコンテスト脚本部門」において、優秀賞を受賞することができました。防災ドラマは、私たちが住む地域で起こりうる災害と被害を考え、災害時の問題点とその改善につながる解決策を、ドラマ仕立てにすることで、防災意識を高めることを目的としています。

今回の脚本は、昨年の第二回総合防災訓練で実施した「児童生徒の安否確認・引渡し訓練を」を題材に、北条市民レポーター編集会議に参加されている皆さん

によって作り上げました。なお、受賞作品の発表はNHKラジオの特別番組で放送され、一月三十日、東京国際フォーラムで授賞式が行われました。

審査講評では「事前に対応を検討しておかなければならない重要なテーマであり、避難施設の耐震性、コミュニティや学校の連携など、幅広い題材が盛り込まれている。地域社会の中での実践にポイントを置き、実際に訓練も行っている」と高く評価していただくことができました。

この脚本は、「スノーフェスタ」で北条小学校の児童及び職員によってドラマ化し、発表していただくことになりました。



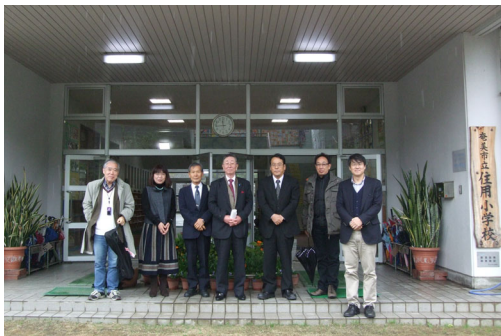
奄美豪雨を取材

吉川 公一

一月二十日、奄美豪雨災害の住用小学校と、FMあまみの災害放送を取材してきました。

奄美大島は沖縄に近く、サンゴの白砂が広がる亜熱帯の島ですが、急峻な山肌が海岸まで迫るきびしい地形でした。テレビで悲惨な状況が流れていた住用町辺りは、海岸から数百メートルしか離れていない谷間の広がったところですが、時間雨量一〇〇ミリを超えるような豪雨が続き、どこだって災害が起こることを思い知らされました。

二年続けて児童避難の防災訓練を実施してきましたが、住用小学校では現実の出来事として、自宅に帰れない子供たちと先生が校舎で避難生活を続けました。校長先生より、十月二十日



住用小学校にて

の朝から時間を追って刻々と変わる状況に、いかに対処していったかをお聞きできました。この内容は、別の機会に資料も含めて改めてご報告いたします。

現在の地球は、一万年前に終わった氷河期に続く間氷期にありますが、アメリカ国防総省の機密資料によると、地球温暖化と海流の変化による影響もあり、二〇一〇年からミニ氷河期が始まるとの予測で、生き残るために国家戦略として動いているとのこと。このところの寒波も関係あるのでしょうか？地震だけでなく豪雨や大雪、冷害にも警戒が必要です。

山なみの特集号を！

このたびの「山なみ」二月号は、通常の山なみのほかに特集号を発行いたしました。

防災科研(ニパ)との共同プロジェクト事業の一環に開催した「市民レポート養成講座」では講座生に、住民の目線で記事を書くことの大切さ、取材する前の編集会議の大切さ等、住民に読んでもらえる広報誌づくりのノウハウを学んでいただきました。

その集大成として講座生十五名が三グループに分かれ、企画・取材・編集まで各チームが協力して広報紙を作りました。

皆さまのお手元にある三パターンの広報紙がそれぞれの成果品です。ご覧いただき、読みやすさ、面白さ、こんな山なみだったらいのになあと、思われるものがあつたかどうか分かりませんが、ご意見を聞かせていただけたら幸いです。今後の「山なみ」のあり方を見直す参考にさせていただきます。